Conservation Alliance Japan
一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン

Conservation Alliance Japan 2021 Annual Report

表紙：21年度後期助成先「FIRST ASCENT JAPAN」
宮城県石巻市金華山の生態系モニタリング事業

What's CAJ

わたしたちは、
アウトドアビジネスで得た利益の一部を
自然保護のために還元します

コンサベーション・アライアンス・ジャパン(CAJ)は、
自然保護のために活動している日本の環境団体に、活動資金の援助を行なうことを
目的に、アウトドア関連企業が集まって2000年7月に設立した基金団体です。

各社の売上規模によって決定した年会費を基金(アウトドア環境保護基金)として集め、
アウトドアフィールド中心とした自然環境保護活動に対し、資金提供をしています。

コンサベーション・アライアンス・ジャパンの参加企業は、すべてアウトドア関連企業です。
私たちがアウトドアビジネスで得た利益の一部を、自然環境保護のための活動資金として
助成、支援することは、間接的にユーザーが自然保護のために資金提供することに
つながります。

自然環境保全のポジティブ・スパイラル

【MISSION】

CAJは日本の価値あるアウトドア・フィールドの保全を目的とする、緊急的かつ有効な保全活動を行っている環境保全グループを支援します。

多くの人がアウトドアレクリエーションを楽しみ、固有の野生動物を育んできた
多様性に満ちた日本の豊かな山や森、川や海を次世代へと継承するために、
草の根的に活動する団体を支援していくことはアウトドア企業としての
責務だと認識しています。

【VALUE】

Catalyst(触媒として)

アウトドア産業のベースとなる自然環境の保護や保全に取り組む非営利団体と
アウトドアビジネスを結び付け、ブランド、サプライヤー、リテーラー、キャンプ場、
メディアを問わず、アウトドア産業界全体で協働する機運を高め、積極的な関与を促します。

Collective Impact(集合的な影響力)

CAJの強みは、切磋琢磨している競合ビジネス同志が、健全な自然環境を持続させるという
共通目標のもと、メンバーが一丸となって団結協働することで、社会的にも大きな影響力を
及ぼすことができます。

Give Back(還元)

CAJのメンバー企業は、ユーザーが次世代にもわたってアウトドアを楽しめるように、ユーザー
から得た売上の一部をフィールドの保護や保全活動に取り組む非営利団体に還元します。

Field Work (現場活動主義)

CAJの支援は、特定の土地や水域など、実際のフィールドに即した直接的な活動を
している非営利の自然保護プロジェクトにフォーカスしています。

What’s CAJ

■設立経緯

1989年、アメリカにおいて、アウトドア業界の各社が、ビジネスで得た利益の一部を自然環境保護のために還元する目的で、The Conservation Allianceという団体を設立しました。現在、アメリカの参加メンバーは230社を超え、自然保護のために大きな成果を上げています。それをきっかけに日本でも有志が集まり、2年半の準備期間を経て2000年7月、任意団体としてコンサベーション･アライアンス･ジャパンが設立されました。約20年の活動を積み重ね、今後更にインパクトある環境貢献の創出の為に、2019年6月に一般社団法人化いたしました。

■2025年ビジョン

＜Catalyst＞
アウトドア業界のサステナビリティに関するハブになっている

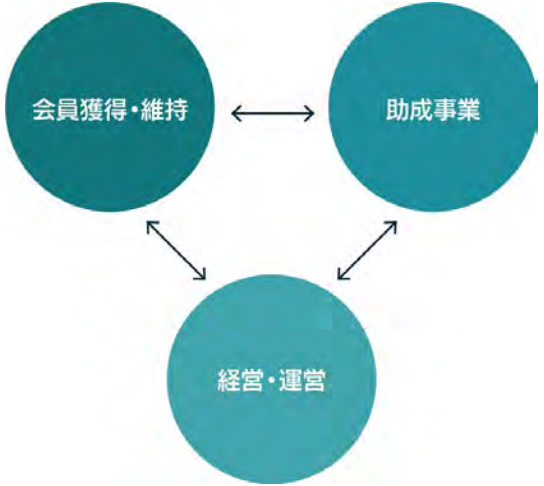
＜Collective Impact＞
主要アウトドア関連企業の過半を含む100社が加盟するCAJは、日本のアウトドア・フィールドの持続的な保全と利用に取り組む団体にとって重要かつ安定的な資金源となるとともに、ユーザーもCAJ加盟企業の製品・サービスを優先的に選択するようになっている

＜Give Back＞

アウトドア業界全体に自然保護に対する倫理観が確立され、年間2500万円規模の助成が行われている

＜Field Work＞
効果的なプロジェクトの支援を通じて複数のアウトドア・フィールドの保護・修復が実現している

■運営方針：3領域のポジティブ・スパイラル



＜会員獲得・維持＞

助成成果の創出と広報を通じてCAJの認知を高めることに加え、各種勉強会、会員企業社員参加型のイベント等の開催を通じて、会員が継続するベネフィットを創出する

＜助成事業＞

会員増加により拡大する基金を価値ある自然環境の保全に取り組む、実現可能性のあるプロジェクトを中心に助成することで成果を創出する

＜経営・運営＞

一般社団法人化と共に運営･事務局体制を強化し、透明性のある事業運営を維持しつつ、成果を出すための柔軟な業務執行を行う

2021 Policy

アウトドアコミュニティの力を結集して
生物多様性を保全し、
気候危機から私たちのフィールドを守る

気候変動緩和と生物多様性保全のいずれもが両立するような活動に注目し、

森林や里山、海洋など、炭素の固定化を促進できる健全な自然生態系を保全。

脱炭素化をめざすとともに、持続可能な形でアウトドアを楽しむことができる日本の自然環境を守る

Grants

【NPO法人子ども環境ネットワーク】
～子どもたちの力で釧路湿原及び周辺の自然破壊（ソーラーパネルの乱立等）を抑止し、保全するための活動～
釧路湿原周囲のソーラーパネルの乱立により希少な生態系が破壊されている身近な問題に対して、子どもたちが守りたい景色に気づき、行動をおこし、子どもたちと地域で実現する。持続可能な地域環境保全を目指すプロジェクト。

【「馬毛島の自然と歴史」連絡会議】 ※前期・後期継続
～「馬毛島の自然と歴史」にかかわる情報の収集・整理・発信とそれらを活用した観察会活動の実践～
大隅諸島種子島の西に浮かぶ国指定天然記念物など生物多様性の宝庫である馬毛島。
基地運用開始が見込まれる5年後に、馬毛島の生態系を最大限保全できる生物多様性保全エリアの設定とそこでの定常的な観察会活動の実現をめざすプロジェクト。

【御岳カップ実行委員会】
～Paddle &Nice pickパドラーによる多摩川リバークリーン～
御岳渓谷をパドルスポーツで川下りしながらリバークリーンを定期的に行い、川ゴミのない多摩川と地域に根差したアウトドアスポーツの場に構築することを目指す。

【緑のダム北相模】
～相模湖・若者の森づくりプロジェクト～
地元の中高生が協働する、森を活用した教育プログラムとしての森林整備活動。

Grants

【つくばトレイルガーディアンズ】
～ Mt.tsukuba 3S = 1day challengeプロジェクト～
筑波山における3S実現のための、参加型・環境保全型トレイルサイン整備プロジェクト。

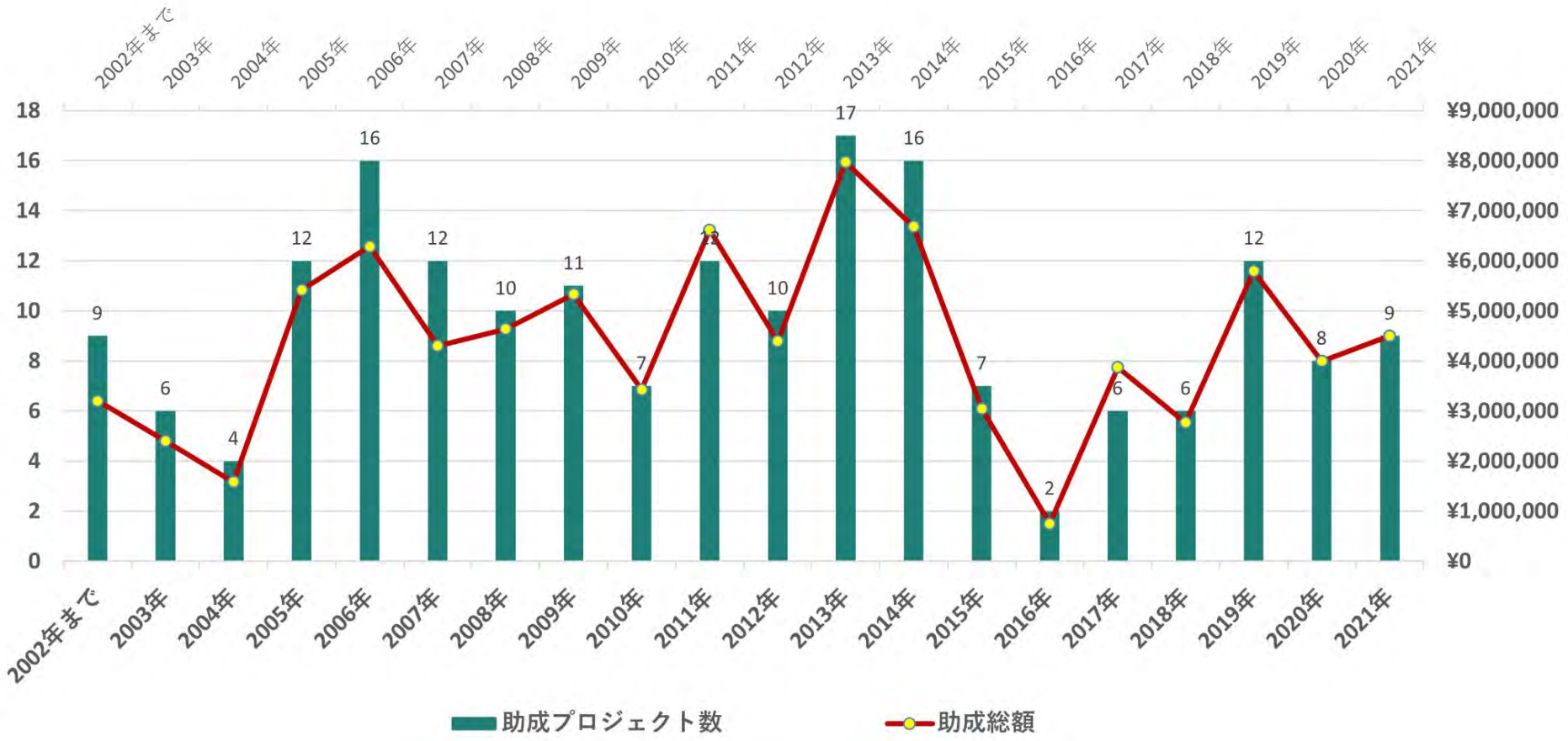
【特定非営利活動法人OWS】
～干潟保全プロジェクトーゆかし潟干潟保全活動ー　～
希少干潟である和歌山県のゆかし潟における生態系の調査を行い価値を示すことで保全の道筋を示す。

【特定非営利活動法人 FIRST ASCENT JAPAN】
～宮城県石巻市金華山の生態系モニタリング事業～
スポーツスペースの創出や維持及び競技者の普及・育成を行い、震災復旧からアウトドアフィールド利用に至る過程の環境保全を行う。

【南アルプスマウンテンバイク愛好会】
～中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区植樹用地巡視活動～
地域貢献と山林保護を実現しながら行う、持続可能なマウンテンバイクが走行できるトレイルづくり。

計8団体　支援総額￥4,498,000

Grants Achievements



Activity

総会・理事会

総会はオンラインで実施し、2020年度の振り返りと2021年度活動案を共有した。
理事の任期が満期となったので新たに改選し、計10名新たな理事メンバーでスタートした。

助成審査会

前期2団体、後期7団体への助成支援を事前審査、本審査、審査会の3段階を経て決定する。
後期は会場とオンラインのハイブリッドで審査会の実施となった。

他組織との連携

日本自然保護協会との連携

NACS-J
日本自然保護協会

助成支援に相応しいフィールドなどの情報交換を行った。
現場の声も共有頂き、意見は助成審査にも反映される。

環境省との連携

環境省と情報交換を行った。
今後も引き続き情報を共有して助成支援に活かしていく方針。

地方創生 SDGs 官民連携 プラットフォーム

Subcommittee Activity

Backyard Collective

ビジネスの「競合」の垣根を越え、
共通した課題に「協働」で取り組む
直接的な環境保全活動。
2019年から計画して豪雨やコロナ
の影響で延期となっていたが、
人数を縮小して開催した。
第一回目は過去助成でもある、
丹沢自然保護協会が行なっている
広葉樹の植樹活動に参加した。

OCAC-アウトドア気候変動アクション・コレクティブ

2020年12月に立ち上げ、
アウトドア業界から気候変
動に対する科学的な裏付
けのある情報提供などを
行ない、まずは正しい知
識とフィールドの現状への
理解を深めるべく、勉強会
を実施した。
第一回は共同通信編集委
員、第二回森林研究・整
備機構理事長、第三回国
立極地研究所副所長に登
壇いただいた。

Subcommittee Activity

Vote the Outdoors
Our Outdoors Our Choice

2021年秋衆院選そして、それ以降のあらゆるレベルの選挙において、あらゆる人々がアウトドアを楽しみ、その恩恵を享受し続けるために必要不可欠な、健全な気候、自然環境を守るために、CAJは「投票に行く」という最もシンプルな「行動」を世の中に促すキャンペーンをリリースした。

ポスター・ステッカーを作成し、CAJ各社がそれぞれ出来ることを実施した。

Activity

Tokyo Outdoor Show 2021

エコロジーエリアにブース出展した。
多くの一般の方がCAJブースに来場し、
興味を持ってもらえる機会となった。
フィールドクロストークとしてエコロジーエリアに
同じく出展している4団体
Leave No Trace,SurfriderFundation,POW,CAJ
でセッションを行い、三浦代表理事が登壇した。

アウトドア・イノベーション・サミット「OIS2021」

日本最大級アウトドア業界カンファレンスOutdoor Innovation Summit2021に実行委員会として参加。今年は三浦代表理事、篠監事がそれぞれのコンテンツをもち登壇した。

Public Relations

ランドウェル CHUMS展示会　6月・2月

サンウエスト　MiiR＆ENO　展示会

ビックアウトドア　店舗サイネージ ＆選挙キャンペーンパネル

(寄付)youtube「おやじキャンプ飯」 エンドクレジット掲載

Public Relations

メディアパートナーでの掲載

CAMPHACK

繊研新聞

Public Relations

メディアパートナーでの掲載

カルチャー

【CAJ NEWS】 2021年度前期助成先が決定！10月からは新たに3ブランドが加盟して45ブランドに

2021.10.05 Tue

A Akimama編集部

コンサベーション・アライアンス・ジャパン（アウトドア環境保護基金／以下ＣＡＪ）は、日本のアウトドア関連企業が加盟し、各社が売上額に応じた会費を拠出。会費はすべて助成基金とし、日本のアウトドアフィールドとして、貴重な自然環境を保護する草の根の団体や活動に対し、活動資金の援助を行なっている。また、昨年は気候危機に対する『アウトドア気候アクション・コレクティブ（Outdoor Climate Action Collective）』を立ち上げ、今年度は「アウトドアコミュニティの力を結集して、生物多様性を保全し、気候危機から私たちのフィールドを守る」というスローガンのもと、助成事業においても、気候変動の影響を削減できる可能性ある活動にフォーカスしていくことをSNSやHPで告知した。

そうしたなか、7月に新たに会員となったアークテリクスとゴールドウイン、そして、海や川などのウォータースポーツに必携のライフジャケット（PFD）を扱う、

【CAJ NEWS】＃未来のために選択をしよう！ 知っていたのに、何もしなかった……と後世に禍根を残さないために

A Akimama編集部

日本のアウトドア産業に関わる45社／ブランドが加盟する＊コンサベーション・アライアンス・ジャパン（アウトドア環境保護基金／以下ＣＡＪ）では、10月31日に予定されている衆議院議員選挙を前に、新しいイニシアチブ『Vote the Outdoors - 未来のために選択しよう』および『Our Outdoors Our Choice - 未来のために選択しよう』を発表しました。

Vote the Outdoors

#VoteTheOutdoor
#OurOutdoorsOurChoice
＃未来のために選択しよう
＃CAJ

Our Outdoors Our Choice

これは、今回の衆議院議員選挙を契機に、日本のアウトドア産業に関わる多くの

カルチャー

【CAJ NEWS】急げ！ もう時間はない。自然保護活動に対する活動支援金の申請締め切りは2月15日です。

先日、幕張で行なわれたTOKYO OUTDOOR SHOWにもブースを出展。多くのアウトドア企業や来場者がCAJの活動に熱い関心をもっていた。

支援の対象となるのは、アウトドアフィールドとして価値のある自然環境をはじめ、その環境の豊かさを示す貴重な動植物の保護を目的に活動をする団体やプロジェクト。期間や規模は問わないが、具体的な成果が見込まれる活動に対し、上限50万円が資金援助される。

2021年度の助成金申請の締め切りは2月15日。活動資金を必要としている団体は今すぐCAJのホームページから申請しよう。

Conservation Alliance Japan
一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン

Akimama

Public Relations

メディアパートナーでの掲載

フィールド・ライフ

Number of Member

New Member

2021年04月入会

Grandex

GREGORY

2021年07月入会

ARC'TERYX

Bluestorm

Palm

2021年10月入会

GOALZERO

GoPro

なっぷ

2022年01月入会

CAMPANELA

HYAKKEI
LIFE WITH NATURE

Robinson

2021 Member

PINNACLE MEMBER

ARC'TERYX / GoPro / KEEN / patagonia / SPACEKEY / THE NORTH FACE

AIGLE DEPUIS 1853 / Bic OUTDOOR / Bluestorm / BUD PALMS / CAMPANELA / CHUMS / Columbia montrail / DR. BRONNER'S ALL-ONE!

eno / GOALZERO / GHEMP / Goldwin / Grandex / GREGORY / HH

ひの自然学校 / HYAKKEI LIFE WITH NATURE / icebreaker Move to natural / KANTAN TARP / 鎌倉天幕 KAMAKURA TENMAKU / macpac / MiiR / MOUNTAIN HARD WEAR

なっぷ / Ogawa / Palm / PAAGO WORKS / RECAMP / RFC / Robinson / 志摩自然学校

snow peak / SOTOE / SUNSKI / TANNUKI / TARAS BOULBA / Teva / THE FARM / WILD-1 OUTDOOR LIFE STORE

YAMAP / YamaReco / ZEROGRAM

【メディア・パートナー】

Akimama / CAMP HACK / フィールドライフ / 繊研新聞社

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン

事務局

〒150-0002　東京都八王子市東浅川町313-2
株式会社ヨンロクニ内

事務局長：滝沢守生

TEL：03-3797-0539 / FAX：03-6419-7015
E-mail：info@outdoorconservation.jp

https://outdoorconservation.jp/

Board Member

代表理事　：　三浦 務
専務理事　：　若菜 洋
理　事　：　齋藤 栄樹
理　事　：　竹田 尚志
理　事　：　古幡 浩史
理　事　：　与茂 雅之
理　事　：　渡部 麻里
理　事　：　中垣 貴野
理　事　：　西野 美加
監　事　：　篠 健司

Conservation Alliance Japan
CAJ 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン